

トビウオ通信 (R8 第1号)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/> (TEL 0855-23-4806)

《令和7年(2025年)の島根県漁業の動向》

島根県の漁獲統計システムにより集計した県内の漁業協同組合の漁獲統計資料(属人)などから、令和7年1月～12月における島根県漁業の動向を取りまとめました(集計対象は海面の漁船漁業のみ)。

全体 … 総漁獲量は前年の99%・総生産額は前年の98%

令和7年の島根県(属人)の総漁獲量は10万1千トンで前年の99%(平年比105%)、総生産額は183億円で前年の98%(平年比106%)でした(図1、表1)。

漁業種類別の構成比は、漁獲量ではまき網が全体の82%、定置網が7%、小型機船底びき網(かけまわし)が2%、沖合底びき網(2そうびき)が2%、べにずわいがにかごが4%となりました(図2)。生産額ではまき網が全体の44%、定置網が13%、沖合底びき網(2そうびき)が9%、小型機船底びき網(かけまわし)が7%、べにずわいがにかごが9%となりました(図3)。

魚種別漁獲量の上位5種はマイワシ(4万2千トン、平年比126%)、サバ類(2万9千トン、平年比173%)、マアジ(6千トン、平年比49%)、ブリ(6千トン、平年比78%)、ウルメイワシ(5千トン、平年比49%)となりました(図1)。

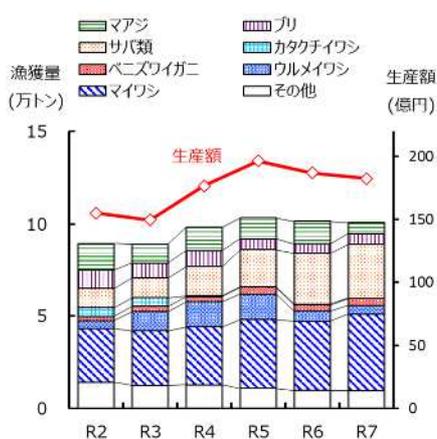


図1 総漁獲量・総生産額の推移

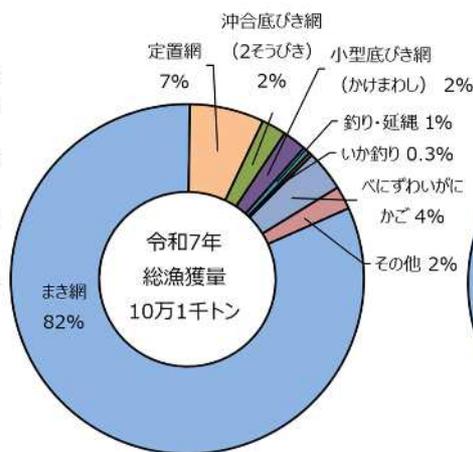


図2 漁業種類別漁獲量の割合

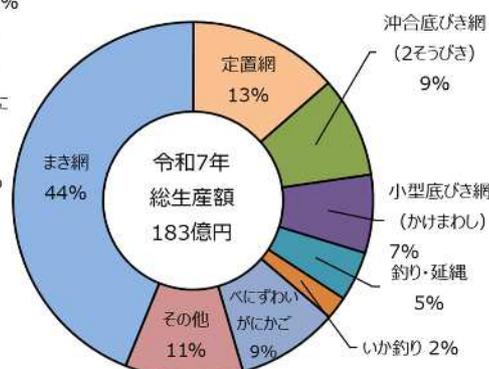


図3 漁業種類別生産額の割合

<文中の語句説明>

- 👉 令和7年の漁獲量・生産額及び平年比は島根県内の全地区、全経営体を対象に集計しています。
- 👉 「前年」は令和6年の数値、「平年」は過去5年(令和2年～令和6年)、沖合底びき網(2そうびき)のみ過去10年(平成27年～令和6年)の平均値を指します。
- 👉 平年との比較は、平年比が120%より大きい場合は「平年を上回る」、平年比80～120%は「平年並み」、平年比が80%より小さい場合は「平年を下回る」としています。

まき網 ……中型まき網 1 船団あたりの漁獲量は前年の 93%・生産額は前年の 84%

本県の基幹漁業の一つである「まき網」には、中型まき網や大中型まき網などがあります。これらは主にマアジ、サバ類、イワシ類などの浮魚（うきうお）を漁獲対象としています。

令和7年のまき網全体の漁獲量は8万3千トンで前年の98%（平年比105%）、生産額は80億円で前年の88%（平年比103%）でした。

まき網のうち、大半を占める中型まき網の漁獲量は7万5千トン、前年の96%（平年比103%）、生産額は69億円、前年の87%（平年比102%）でした（図4）。

中型まき網1船団あたりの漁獲量は7千4百トン、前年の93%（平年比102%）、生産額は6億8千万円、前年の84%（平年比101%）であり、ともに平年並みでした。

中型まき網の魚種別漁獲量の上位5種は、マイワシ（平年比120%）、サバ類（平年比171%）、ウルメイワシ（平年比49%）、ブリ（平年比77%）、マアジ（平年比45%）でした（図4）。

中型まき網の地区別の漁獲量は、石見地区が2千4百トン（平年比94%）、隠岐地区が7万2千トン（平年比103%）でした。

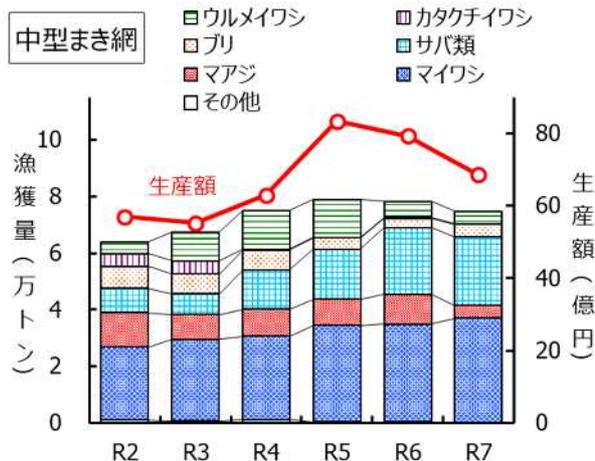


図4 中型まき網による魚種別漁獲量及び生産額の推移

沖合底びき網(2 そうびき) ……1 船団あたりの漁獲量は前年の 126%・生産額は前年の 117%

沖合底びき網(2 そうびき)は2隻の漁船で網を曳き、カレイ類、アンコウ類、アカムツ（地方名ノドグロ）など海底付近に生息する魚介類を漁獲対象としています。

令和7年の漁獲量は2千3百トン、前年の112%（平年比68%）、生産額は16億7千万円、前年の103%（平年比92%）でした（図5）。

1船団あたりの漁獲量は646トンであり、前年の126%（平年比108%）で平年並み、生産額は4億7千万円、前年の117%（平年比142%）で平年を上回りました。

魚種別漁獲量の上位5種は、カワハギ類（平年比56%）、キダイ（平年比57%）、アカムツ（平年比70%）、アナゴ・ハモ類（平年比68%）、アンコウ類（平年比86%）となりました（図5）。

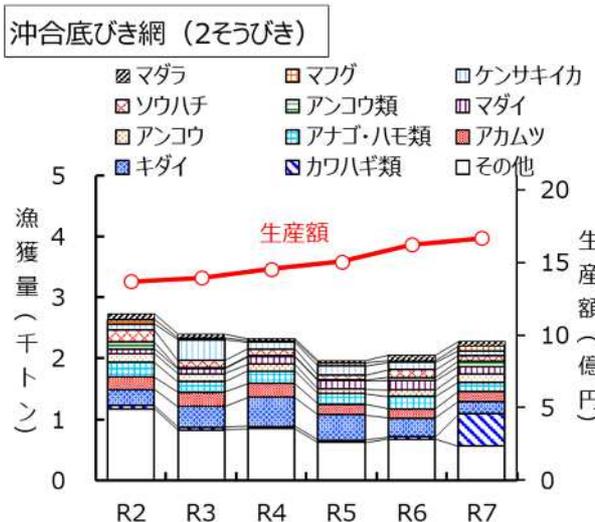


図5 石見地区の沖合底びき網(2 そうびき)による魚種別漁獲量及び生産額の推移

小型機船底びき網(かけまわし)・・・1隻あたりの漁獲量は前年の100%・生産額は前年の102%

小型機船底びき網(かけまわし)は、1隻の漁船で操業し、カレイ類、ニギス、タイ類など海底付近に生息する魚介類を漁獲対象としています。

令和7年の漁獲量は2千2百トン、前年の92%(平年比72%)、生産額は13億円、前年の94%(平年比85%)でした(図6)。

1隻あたりの漁獲量は69トン、前年の100%(平年比83%)、生産額は4千百万円、前年の102%(平年比98%)であり、ともに平年並みでした。

魚種別漁獲量の上位5種は、ソウハチ(平年比54%)、ヤリイカ(平年比215%)、ニギス(平年比87%)、アナゴ・ハモ類(平年比104%)、アンコウ類(平年比48%)となりました(図6)。

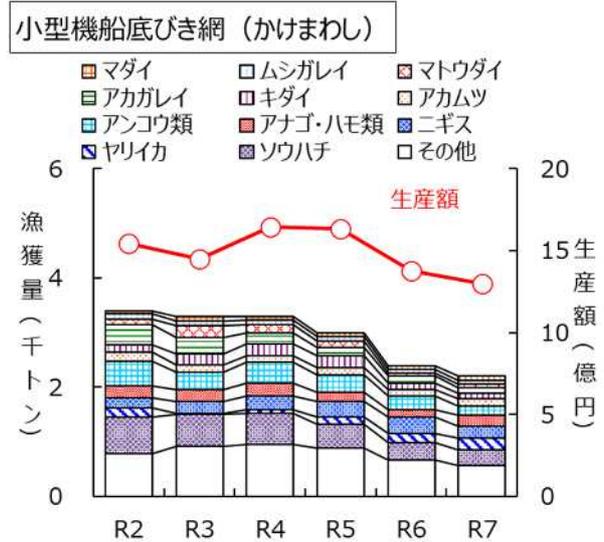


図6 小型機船底びき網(かけまわし)による魚種別漁獲量及び生産額の推移

定置網・・・漁獲量は前年の107%・生産額は前年の110%

定置網(大型定置網・小型定置網・底建網)は魚の通り道に網を設置し、来遊してくる魚を漁獲する漁法で、マアジ、ブリ、サバ類、イカ類などを漁獲対象としています。

令和7年の漁獲量は6千9百トン、前年の107%(平年比124%)、生産額は24億6千万円、前年の110%(平年比126%)でした(図7)。

海区別漁獲量は、出雲地区が4千6百トン(平年比116%)で平年並み、石見地区は1千4百トン(平年比192%)で平年を上回り、隠岐地区は866トン(平年比107%)で平年並みでした。

魚種別漁獲量の上位5種は、出雲地区ではマイワシ(平年比231%)、サバ類(平年比163%)、マアジ(平年比149%)、ブリ(平年比99%)、サワラ類(平年比69%)となりました。石見地区ではサバ類(平年比395%)、マアジ(平年比183%)、ブリ(平年比207%)、マイワシ(平年比351%)、イサキ(平年比176%)となりました。隠岐地区ではサバ類(平年比390%)、ブリ(平年比78%)、マアジ(平年比69%)、スルメイカ(平年比109%)、マイワシ(平年比104%)となりました。

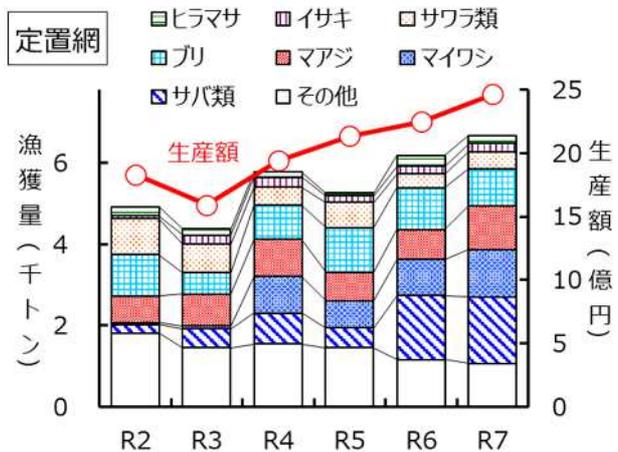


図7 定置網による魚種別漁獲量及び生産額の推移

釣り・延縄 …… 漁獲量は前年の99%・生産額は前年の102%

釣り・延縄は、釣糸と釣針からなる釣り、縄から枝状に複数の釣り針を仕掛ける延縄など、釣り針に食いついた魚を釣り揚げる漁法です。

釣り・延縄の令和7年の漁獲量は677トン、前年の99%（平年比94%）、生産額は8億2千万円、前年の102%（平年比114%）でした（図8）。

出雲地区の漁獲量は270トン（平年比93%）、石見地区は222トン（平年比96%）、隠岐地区は186トン（平年比93%）でいずれも平年並みでした。

魚種別漁獲量の上位5種は、出雲地区ではサワラ類（平年比123%）、ブリ（平年比62%）、アマダイ類（平年比118%）、ヒラマサ（平年比132%）、クロマグロ（平年比139%）、石見地区ではヒラマサ（平年比118%）、ブリ（平年比84%）、クロマグロ（平年比158%）、アマダイ類（平年比86%）、サワラ類（平年比99%）、隠岐地区ではブリ（平年比117%）、クロマグロ（平年比145%）、カサゴ・メバル類（平年比81%）、メダイ（平年比247%）、マダイ（平年比80%）となりました。

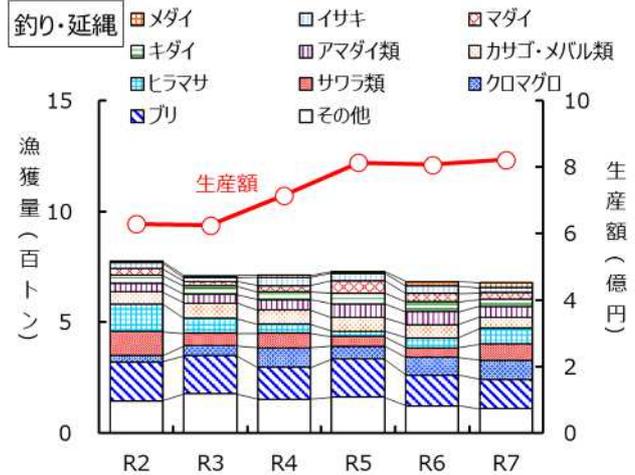


図8 釣り・延縄による魚種別漁獲量及び生産額の推移

いか釣り …… 漁獲量は前年の124%・生産額は前年の123%

いか釣りは名前の示すとおりのスルメイカやケンサキイカなどのイカ類が漁獲対象で、本県では夜に集魚灯（漁火）によりイカを集める夜釣りが主流です。

令和7年の漁獲量は305トン、前年の124%（平年比92%）、生産額は3億8千万円、前年の123%（平年比110%）であり、いずれも平年並みでした（図9）。

魚種別の漁獲量の平年比は、ケンサキイカ83%、スルメイカ102%、ヤリイカ102%でした。

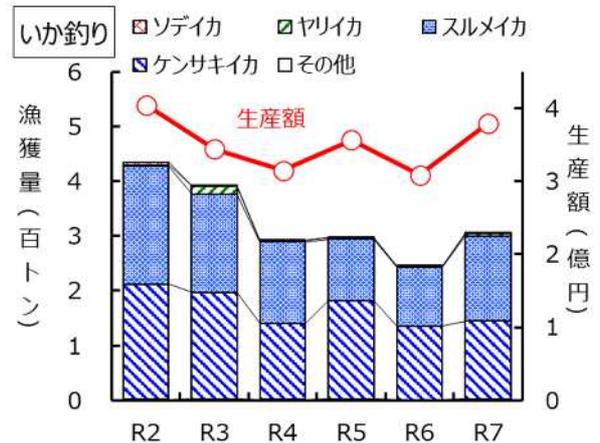


図9 いか釣りによる魚種別漁獲量及び生産額の推移

※ 各漁業の概要や「トビウオ通信」のバックナンバーについては島根県水産技術センターのホームページをご覧ください。
（ <https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/> ）

表1 令和7年(1月～12月)の県内主要漁業の海区別漁獲量・生産額

漁業種類	海区	漁獲量※			生産額※			1ヶ統あたり漁獲量※			1ヶ統あたり生産額※		
		量(トン)	平年比	前年比	金額(百万円)	平年比	前年比	量(トン)	平年比	漁模様	金額(百万円)	平年比	漁模様
すべての漁船漁業	全県	100,748	105%	99%	18,260	106%	98%	—	—	—	—	—	—
中型まき網	石見	2,367	94%	123%	392	78%	100%	1,194	95%	○	196	82%	○
	隠岐	72,379	103%	95%	6,468	103%	86%	8,889	101%	○	799	102%	○
沖合底びき網 (2そう曳き)	石見	2,283	68%	112%	1,667	92%	103%	646	108%	○	475	142%	◎
小型機船底びき網 (かけまわし)	石見	1,959	69%	90%	1,130	81%	92%	68	82%	○	39	96%	○
定置網 ※※	出雲	4,621	116%	101%	1,777	123%	107%	343	121%	◎	132	129%	◎
	石見	1,368	192%	166%	345	162%	151%	304	186%	◎	74	157%	◎
	隠岐	866	107%	88%	340	116%	95%	208	115%	○	85	125%	◎
釣り・延縄	出雲	270	93%	100%	307	114%	99%	—	—	—	—	—	—
	石見	222	96%	102%	275	122%	105%	—	—	—	—	—	—
	隠岐	186	93%	95%	240	108%	102%	—	—	—	—	—	—
いか釣り	出雲	99	96%	124%	156	117%	122%	—	—	—	—	—	—
	石見	79	87%	104%	117	100%	106%	—	—	—	—	—	—
	隠岐	127	92%	143%	107	112%	153%	—	—	—	—	—	—

※ 全体の漁獲量・生産額・平年比は県内の全漁業協同組合・全経営体が対象。

平年比: 過去5年(令和2年～令和6年)の平均値との比較、沖合底びき網(2そうびき)のみ過去10年(平成27年～令和6年)

漁模様: ◎平年を上回る(120%より大きい)、○平年並み(80%以上120%以下)、▲平年を下回る(80%より小さい)

※※定置網の1経営体あたり漁獲量・生産額は集計対象期間(令和2年～令和7年)に操業実績のある大型定置網のみを対象に算出。